

# 北海道下水道事業経営戦略の改定について

---

令和6年10月16日  
建設部まちづくり局都市環境課



1. 北海道の下水道事業について（概要）
2. 北海道の下水道経営戦略について（概要）
3. 石狩湾新港地域公共下水道事業について

## ①下水道事業の目的・役割

浸水の防除

都市に降った  
雨の排除

公衆衛生の  
向上

市街地で生じた  
汚水の排除

公共用水域  
の水質保全

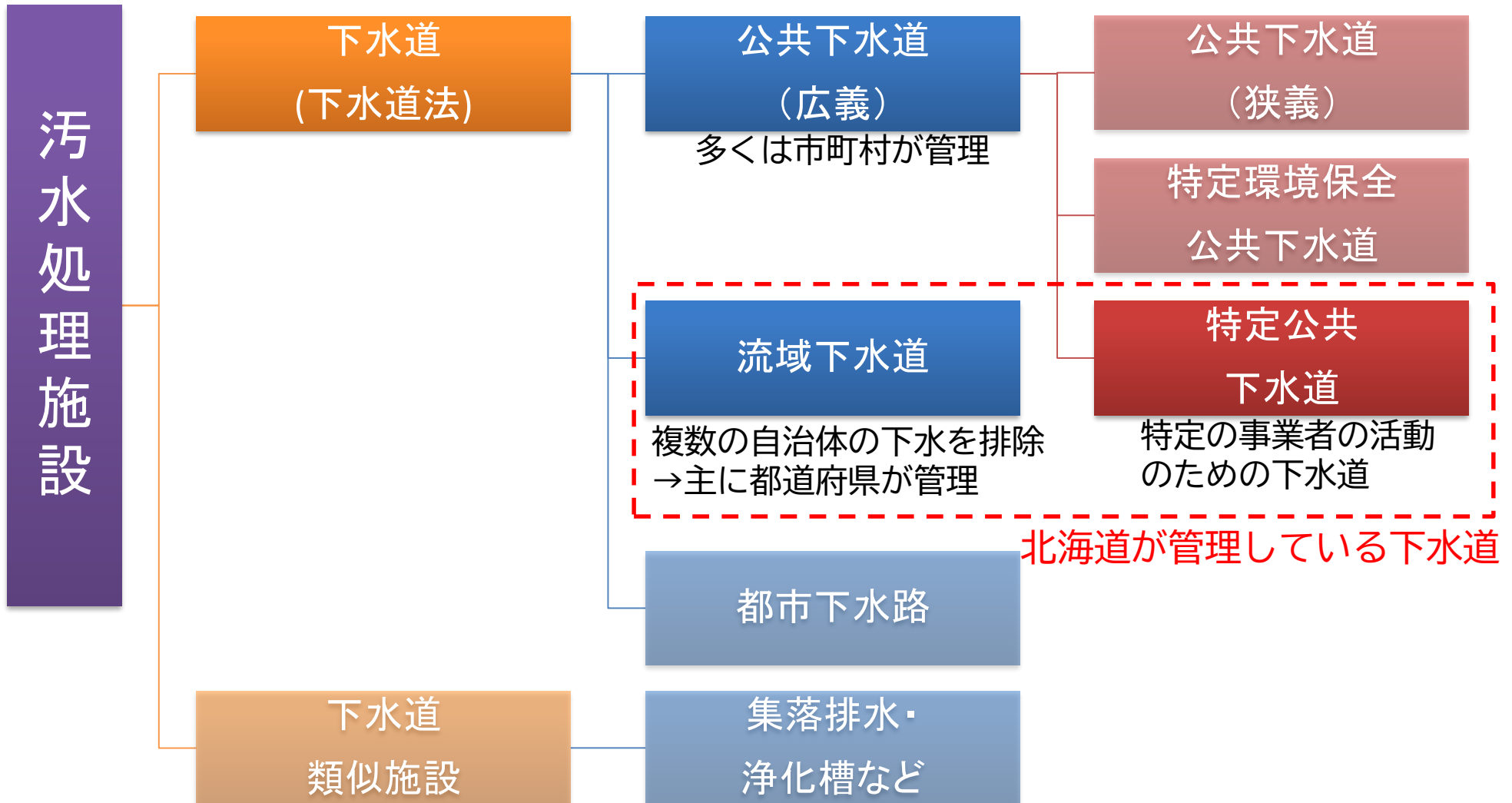
適切に処理した  
水を戻す

循環型社会・  
低炭素社会  
への貢献

汚泥やガスの  
有効利用

# 1. 北海道の下水道事業について (概要)

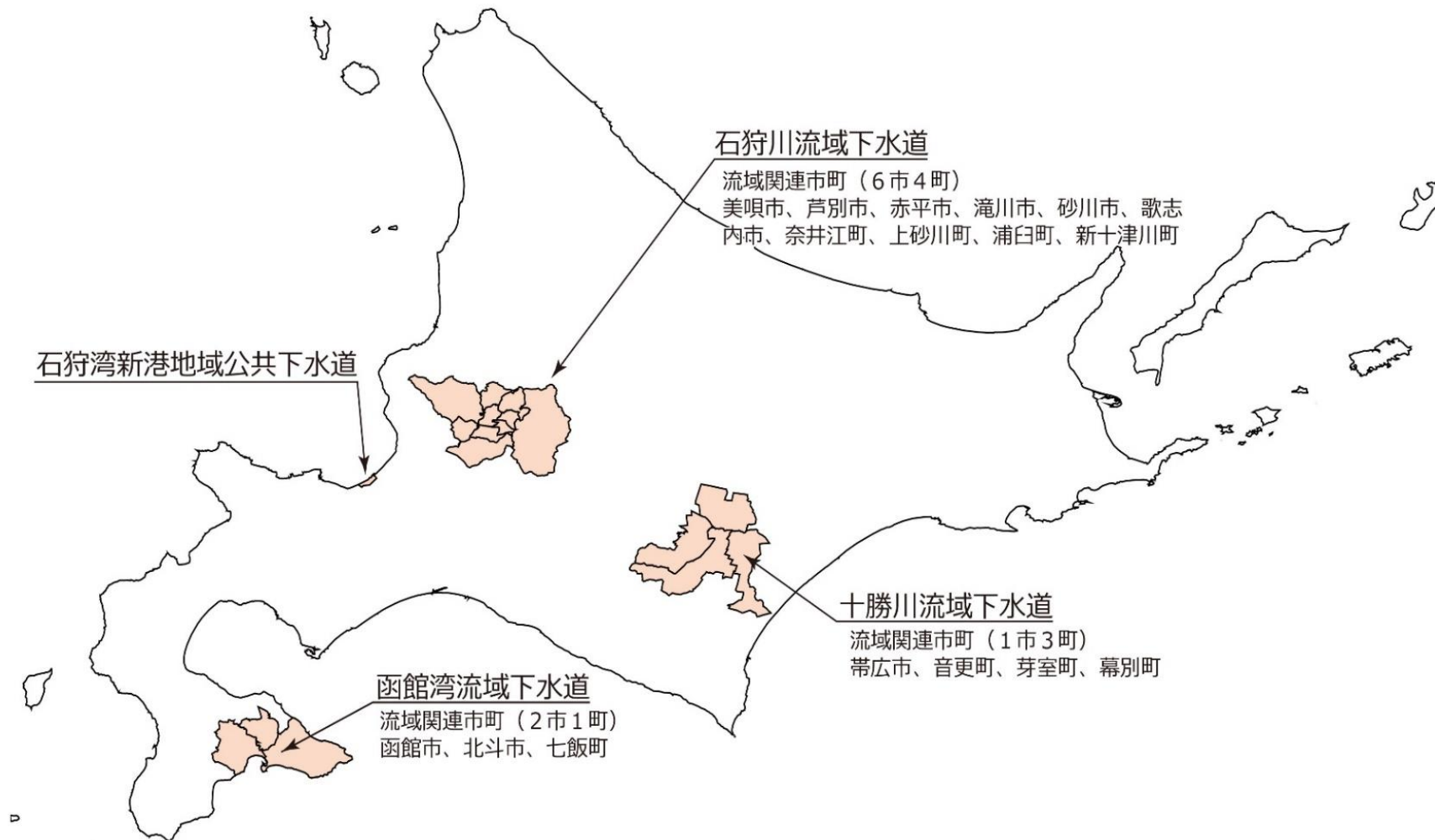
## ②主な下水道事業の種類



# 1. 北海道の下水道事業について (概要)

## ③北海道の所管事業

- ・ 3つの流域下水道 (石狩川、十勝川、函館湾)
- ・ 1つの特定公共下水道 (石狩湾新港)



# 1. 北海道の下水道事業について (概要)

## ④-1. 石狩川流域下水道

- ・ 関連市町：美唄市、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町（6市4町）
- ・ 事業着手：昭和49年度



終末処理場：奈井江浄化センター

### 計画諸元

		全体計画	事業計画
		令和12年度	令和8年度
処理面積(ha)		7,020	6,519
処理人口(千人)		86.7	93.6
処理水量(千m <sup>3</sup> /日)		35.4	37.9
整備済み管路延長(km)	污水管	82.6	〃
ポンプ場		8ヶ所	〃
処理場	面積(ha)	47.0	〃
	処理方式	標準活性汚泥法	〃
	処理能力(千m <sup>3</sup> /日)	39.5	〃
供用開始年度		昭和60年度(1985)	〃

## ④-2. 十勝川流域下水道

- ・ 関連市町：帯広市、音更町、幕別町、芽室町 (1市3町)
- ・ 事業着手：昭和52年度



終末処理場：十勝川浄化センター

### 計画諸元

		全体計画	事業計画
		令和12年度	令和7年度
処理面積(ha)		8,186	6,231
処理人口(千人)		228.0	232.9
処理水量(千m <sup>3</sup> /日)		103.6	105.6
整備済み管路延長(km)	污水管	22.9	〃
ポンプ場		1ヶ所	〃
処理場	面積(ha)	10.3	〃
	処理方式	標準活性汚泥法	〃
	処理能力(千m <sup>3</sup> /日)	106.0	〃
供用開始年度		昭和54年度(1979)	〃

## ④-3. 函館湾流域下水道

- ・ 関連市町：函館市、北斗市（旧上磯町、旧大野町）、七飯町（2市1町）
- ・ 事業着手：昭和55年度



終末処理場：函館湾浄化センター

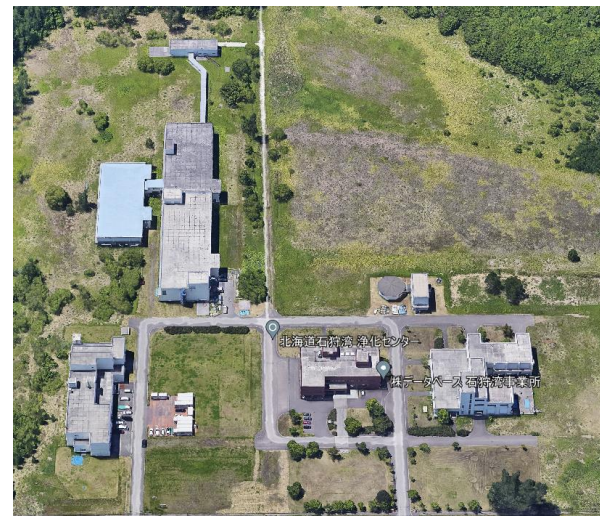
### 計画諸元

		全体計画	事業計画
		令和12年度	令和10年度
処理面積(ha)		4,886	4,596
処理人口(千人)		155.9	157.3
処理水量(千m <sup>3</sup> /日)		77.1	77.9
整備済み管路延長(km)	污水管	18.2	//
ポンプ場		1ヶ所	//
処理場	面積(ha)	14.3	//
	処理方式	標準活性汚泥法	//
	処理能力(千m <sup>3</sup> /日)	80	//
供用開始年度		平成元年度(1989)	//

# 1. 北海道の下水道事業について (概要)

## ④-4. 石狩湾新港地域公共下水道

- ・事業種別：特定公共下水道
- ・位置：小樽市・石狩市  
(工業専用地域を主とする各市の一部)
- ・事業着手：昭和52年度



終末処理場：石狩湾浄化センター

### 計画諸元

		全体計画	事業計画
		令和8年度	令和8年度
処理面積(ha)		1,953	1,837
処理人口(千人)		29	〃
処理水量(千m <sup>3</sup> /日)		11.5	〃
整備済み管路延長(km)	污水管	135.0	〃
	雨水管	105.0	〃
ポンプ場		3ヶ所	〃
処理場	面積(ha)	13.4	〃
	処理方式	標準活性汚泥法	〃
	処理能力(千m <sup>3</sup> /日)	12.5	〃
供用開始年度		昭和58年度(1983)	〃

# 1. 北海道の下水道事業について (概要)

## 石狩湾新港地域の特徴

- 日本海沿岸に位置する国際貿易港
- 約3,000haにおよぶ産業物流拠点  
(企業立地数約750社、約20,000人就業)
- エネルギー関連企業も立地
  - 北海道ガス(株)石狩LNG基地
  - 北海道電力(株)LNG火力発電所
  - 再生可能エネルギーによる発電施設

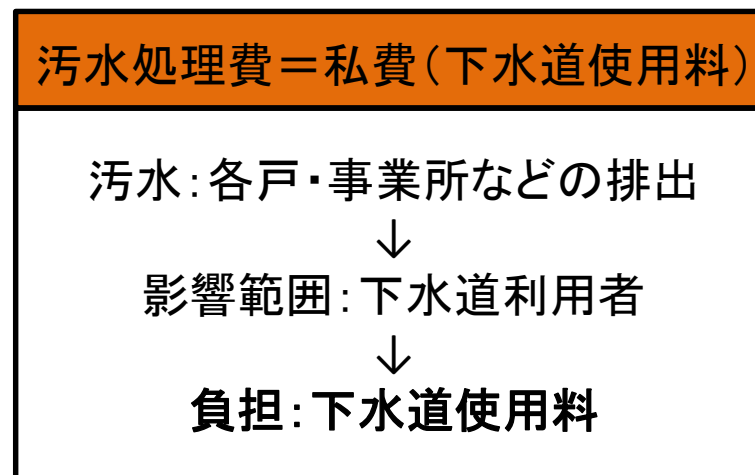
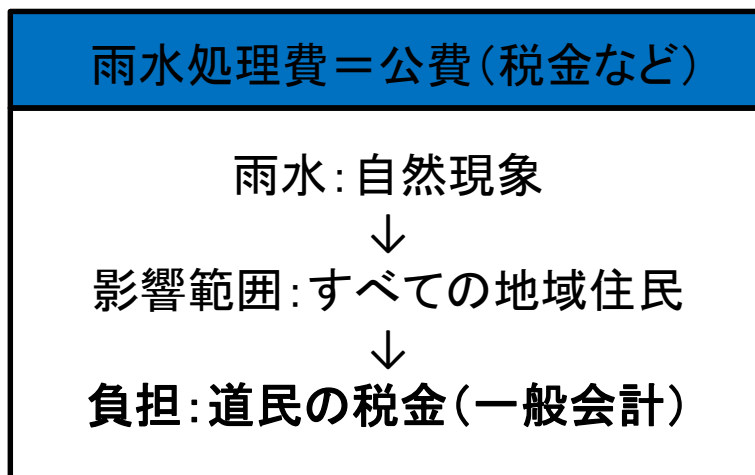


## ① 下水道事業の経営の原則

### ◆ 独立採算制の原則

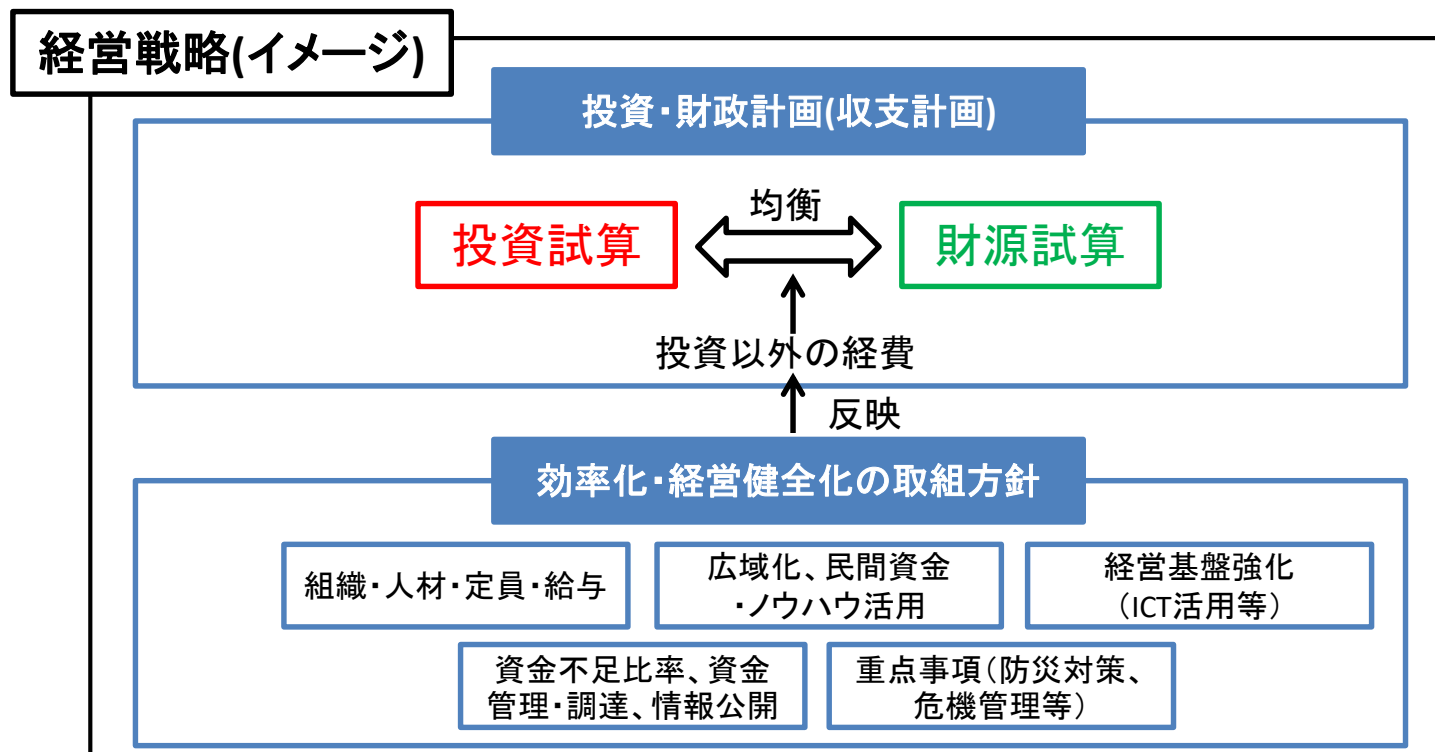
- ・ 公共下水道事業：地方公共団体により設置・経営される「公営企業」
- ・ 事業に伴う収入によってその経費を賄うことが原則

### ◆ 雨水公費・汚水私費の原則



## ②経営戦略とは

- ・ 安定的な事業継続のための中長期的な経営の基本計画
- ・ **支出**と**収入**を均衡させた「投資・財政計画」(収支計画)が中心
  - ・ **支出**: 「投資試算」(施設・設備投資等の見通し)
  - ・ **収入**: 「財源試算」(財源の見通し)
- ・ その他、効率化・経営健全化の取組方針を記載する



# 2. 北海道の下水道経営戦略について (概要)

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons.



## ③北海道の下水道経営戦略について

【経営戦略と決算状況の比較 (令和3年度)】

《石狩湾新港 (特公)》

令和3年度

(単位：百万円、税抜)

勘定科目	経営戦略	決算	比較
経常損益			
営業収益 A	311	327	16
下水道料金	311	327	16
営業外収益 B	553	551	▲ 2
他会計補助金	112	112	▲ 1
長期前受金戻入	439	437	▲ 2
負担金	0	1	1
雑収益	2	1	▲ 0
計 (経常収益) C(A+B)	865	878	14
営業費用 D	966	980	14
処理場費	240	263	23
減価償却費	726	717	▲ 8
その他営業費用	0	0	0
営業外費用 E	173	172	▲ 1
支払利息	173	171	▲ 2
雑支出		1	
計 (経常費用) F(D+E)	1,139	1,152	14
経常損益 G(C-F)	▲ 274	▲ 274	0
経常収支比率 L(C/F)	75.9%	76.2%	

《3流域合計》

令和3年度

(単位：百万円、税抜)

勘定科目	経営戦略	決算	比較
経常損益			
営業外収益 A	4,661	4,645	▲ 16
他会計補助金	1,185	1,177	▲ 8
市町等負担金	34	27	▲ 8
長期前受金戻入	3,442	3,436	▲ 6
雑収益	0	5	5
計 (経常収益) B	4,661	4,645	▲ 16
営業費用 C	4,608	4,628	20
処理場費	32	24	▲ 8
減価償却費	4,576	4,604	28
その他営業費用		0	0
営業外費用 D	192	190	▲ 3
支払利息	192	189	▲ 3
雑支出	0	0	0
計 (経常費用) E(C+D)	4,800	4,817	18
経常損益 F(B-E)	▲ 139	▲ 173	▲ 34
経常収支比率 L(B/E)	97.1%	96.4%	

※いずれも計算値を百万円表示としているため見掛け上の合計値には差異がある。  
 ※策定済みの経営戦略 (収支計画) は税込で作成。経常損益との対比のため参考として税抜で比較。

# 2. 北海道の下水道経営戦略について（概要）

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons. 13



## 【経営戦略と決算状況の比較（令和4年度）】

### 《石狩湾新港（特公）》

令和4年度 (単位：百万円、税抜)

勘定科目	経営戦略	決算	比較
経常損益			
営業収益 A	314	346	33
下水道料金	314	346	33
営業外収益 B	553	545	▲ 8
他会計補助金	113	109	▲ 4
長期前受金戻入	438	430	▲ 8
負担金	0	5	5
雑収益	1	1	0
計（経常収益） C(A+B)	866	891	25
営業費用 D	981	1,013	32
処理場費	238	305	67
減価償却費	743	708	▲ 35
その他営業費用	0	0	0
営業外費用 E	176	172	▲ 5
支払利息	176	171	▲ 6
雑支出	0	1	1
計（経常費用） F(D+E)	1,158	1,185	27
経常損益 G(C-F)	▲ 291	▲ 294	▲ 2
経常収支比率 L(C/F)	74.8%	75.2%	

### 《3流域合計》

令和4年度 (単位：百万円、税抜)

勘定科目	経営戦略	決算	比較
経常損益			
営業外収益 A	4,341	4,307	▲ 35
他会計補助金	1,231	1,208	▲ 23
市町等負担金	35	28	▲ 7
長期前受金戻入	3,075	3,057	▲ 18
雑収益	0	14	14
計（経常収益） B	4,341	4,307	▲ 35
営業費用 C	4,145	4,167	21
処理場費	32	26	▲ 6
減価償却費	4,114	4,141	27
その他営業費用		0	0
営業外費用 D	176	169	▲ 7
支払利息	176	169	▲ 7
雑支出		0	
計（経常費用） E(C+D)	4,321	4,335	14
経常損益 F(B-E)	20	▲ 29	▲ 48
経常収支比率 L(B/E)	100.5%	99.3%	

※いずれも計算値を百万円表示としているため見掛け上の合計値には差異がある。  
 ※策定済みの経営戦略（収支計画）は税込で作成。経常損益との対比のため参考として税抜で比較。

# 2. 北海道の下水道経営戦略について（概要）

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons. 14



## 【経営戦略と決算状況の比較（令和5年度）】

### 《石狩湾新港（特公）》

令和5年度

（単位：百万円、税抜）

勘定科目	経営戦略	決算見込み	差額
経常損益			
営業収益 A	352	373	20
下水道料金	352	373	20
営業外収益 B	549	555	6
他会計補助金	107	107	1
長期前受金戻入	441	438	▲2
負担金	0	1	1
雑収益	1	8	6
計（経常収益） C(A+B)	901	927	27
営業費用 D	996	1,070	74
処理場費	238	320	82
減価償却費	758	751	▲8
その他営業費用	0	0	0
営業外費用 E	177	175	▲2
支払利息	177	173	▲4
雑支出	0	2	2
計（経常費用） F(D+E)	1,174	1,245	72
経常損益 G(C-F)	▲273	▲318	▲45
経常収支比率 L(C/F)	76.7%	74.5%	

### 《3流域合計》

令和5年度

（単位：百万円、税抜）

勘定科目	経営戦略	決算見込み	比較
経常損益			
営業外収益 A	4,316	4,294	▲22
他会計補助金	1,304	1,297	▲7
市町等負担金	36	29	▲6
長期前受金戻入	2,976	2,967	▲9
雑収益	0	0	0
計（経常収益） B	4,316	4,294	▲22
営業費用 C	4,017	4,062	45
処理場費	32	28	▲4
減価償却費	3,985	4,034	49
その他営業費用		0	0
営業外費用 D	160	155	▲4
支払利息	160	155	▲5
雑支出		0	
計（経常費用） E(C+D)	4,176	4,217	41
経常損益 F(B-E)	140	77	▲63
経常収支比率 L(B/E)	103.3%	101.8%	

特に石狩湾新港(特公)の経営について検討が必要

※いずれも計算値を百万円表示としているため見掛け上の合計値には差異がある。  
 ※策定済みの経営戦略（収支計画）は税込で作成。経常損益との対比のため参考として税抜で比較。

# 2. 北海道の下水道経営戦略について (概要)

その先の、道へ。北海道

Hokkaido. Expanding Horizons. 15



## 【経営戦略の改定】

- ・ 令和2年4月 公営企業会計へ会計方式の移行
- ・ 令和3年3月 「北海道下水道事業経営戦略」策定 (現行計画)  
計画期間：令和3～12年 (10年間)



令和7年度 (5年経過時点) での中間見直し  
見直し対象：当初期間のうちの後半5年  
(令和8～12年)

## 【改定のスケジュール】

項目	令和6年度												令和7年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
経営戦略改定	→ 改定																							
有識者会議							①	②							①	②								
パブコメ、関係市町説明																					①			